

## 平成 29 年第 13 回松阪市教育委員会定例会会議録

日時 平成 29 年 11 月 22 日(水)

午後 1 時 30 分 開会

午後 2 時 27 分 閉会

場所 教育委員会室

### 議題

議案第 33 号 平成 29 年度教育委員会活動の点検・評価報告書について

### 報告事項

1. 松阪市立学校教室等環境対策に関する答申書について
2. 平成 29 年度 10 月児童生徒の問題行動等について
3. 平成 30 年度土曜日の授業について
4. 第 5 回図書館を使った調べる学習コンクールについて

### その他

1. 第 11 回美し国三重市町対抗駅伝松阪市代表選手選考会について
2. 第 54 回市民駅伝飯南大会の開催について

教育長 　ただ今から平成 29 年 11 月第 13 回教育委員会定例会を開催いたします。

　なお、夕刊三重新聞社様から傍聴の申し出がございましたので、私のほうで許可いたしました。ご報告申し上げます。

教育長 　それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきます。

教育長 　それでは、議案第 33 号「平成 29 年度教育委員会活動の点検・評価報告書について」を議題といたします。事務局から提案理由を説明願います。

（事務局説明）

教育長 　ただ今の事務局の説明の内容に対しまして、質疑、意見もしくは感想等がございましたらお願いいたします。

山川委員 　感想といたしまして、平成 19 年にスタートした新市の教育ビジョンが立ち上がりまして、28 年度で最終年度となりました。

　私も教育ビジョンの構築に携わらせていただきました。懐かしく感じます。現在の中田教育長も一緒にこの教育ビジョンの六つのナビゲーションについて、討議させていただきました思い出があります。これが平成 28 年度で最終年度となり 10 年間が経ったのだなと感慨深い思いです。

　各担当課の皆様には、いろいろな事業やテーマについてご尽力をいただきまして一部 B 評価もありますが、ほとんどが、A 評価でありまた、第三者評価委員の方々におかれましては大変ご満足いただけるような評価をいただいたと読ませていただき感じました。

　私も 10 年間教育行政に携わらせていただき皆様方のご活躍を目の当たりにし大変満足をしています。大変ありがとうございました。

　今後ともご活躍をしていただくとともに新しい教育ビジョンが、29 年度から始まっています。手元に持ってまいりました。

　松阪市の教育ビジョンは、第 1 期の教育ビジョンを継承、踏襲をされていますが、29 年度が始まり、28 年度までの評価シートまたは、評価方法について、新教育ビジョンでは、それぞれの項目における評価指標が出ています。現状値がどれだけで、今回の教育ビジョンが 4 年ということで 32 年度の目標値が出ています。

　今までの評価シートによる評価は、このような形ですが、新教育

ビジョンの評価では、評価目標がでているので、その目標に近づける進捗の数字が、多分出てくるのかと思います。大変厳しい評価ではなかろうかと、数値で出てくるのではと思います。

まだ、29年度からの評価をどうされるのか聞いていませんが、どのようにしていくかお聞きしたいと思います。新しい教育ビジョンの目標数値を基にした評価になっていくのかどうかお聞きしたいと思います。

教育総務課長 新しい教育ビジョンでは、現状値を把握しながら目標値を設定しています。

それを30年度に行う評価では、十分に加味した評価シートというかたちで行っていきたいと考えています。

ただし、方法、書式等については、今後検討させていただきます。

教育政策・地域連携M 平成19年度にできた教育ビジョンは、地教行法で規定され構築しましたが、まだどこの県や市町において教育ビジョンが策定されていない中にもかかわらず、委員の方々のご意見をいただきながら素晴らしいビジョンを作り上げていただいたのだと教育ビジョンの改定作業を行う中で感じていました。

その素晴らしい教育ビジョンを引き継ぐかたちで、基本を変えずに新教育ビジョンに改定をいたしました。

その際に、少しかたちを変えて活動の指標も入れたという経緯があります。

このことは、市長の下で教育大綱が策定され、それを受けて教育ビジョンができています。

この新教育ビジョンも10年先を見通して子どもたちをどう育てていくかというものですが、その中の活動としては、4年間という期間を設けています。

毎年毎年の教育委員会としての評価がやり易いかたちをとるため、活動の指標を載せました。

山川委員のご指摘のとおり数値目標にしているので、大変厳しい評価を毎年していくこととなると思いますが、かたちはまだ決まっていますが、しっかりと各年度の達成状況を把握して教育委員の皆様にも見えるかたちで一步一步進めていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

教育長 他にどうでしょうか。  
(委員から「なし」の声)

教育長 よろしいでしょうか。それでは、質疑なしと認めます。よって、これより討論に入ります。  
討論はありませんか。  
(委員から「なし」の声)

討論なしと認めます。よって、採決に入ります。議案第33号を可決することに賛成の方の挙手を求めます。  
(全員挙手)

教育長 挙手全員でございます。よって、議案第33号は、原案どおり可決いたしました。

教育長 議案が終了いたしましたので、報告事項に入ります。報告事項1から4を事務局から説明願います。  
(事務局から説明)

教育長 ただ今の事務局の説明に対し、ご質問、ご意見は、ありませんか。

鷺尾委員 土曜日の授業についてですが、土曜日の授業を増やすより、むしろ減らすという方向に変わっていくと聞きましたが、これで、全体的なカリキュラムがこなせるのでしょうか。

学力の低下につながらないかということと、土曜日の授業の分を他の曜日に振り替えると他の曜日でかえって授業時間が長くなり結局、生徒が疲れるということに変わりがないのではないかと考えられますがどうでしょうか。

また、疲れるので土曜日の授業がないほうが良いと考える児童生徒が多いということについて、学校側がそのように感じているのか、または、実際にアンケートを取って数的に表されているものなのかどうかお聞きしたいと思います。

学校支援課長 土曜日の授業の回数が減ることについて、一日が3時間

であり、8 回行っている学校が、4 回になると 12 時間減るといことになります。

土曜授業の時間数が減ったとしても余裕を持って、時間割編成がされているため、教育課程上の時間数が不足することはないと考えます。

校長会においても、今後ともそのようなことが無いようにと確認もしたところでございます。

次に疲れるということについてですが、子どもたちにとってアンケートではなく、先生方が子どもたちの様子を見る中で、月曜日に疲れている様子が見られるという学校側から見たアンケートの結果によるものです。

教育長 学習指導要領に定められた時間数は、月曜日から金曜日に割り振って全ての時間数を確保できるようになっています。

年間で概ね 45 週あるので、余裕を持って授業時間数をカバーでき土曜日は、それに上乗せをしているものなので、決められた授業時間数が減るということではないということです。

また、県内の平均を見ると松阪市のように、土曜日の授業のみで 10 回するというのは、トップであります。ほとんどが、土曜活動も回数に入れています。

教育長 他にどうでしょうか。

竹内委員 土曜日の授業のお話にもありましたが、点検・評価のことも含めて先生方の勤務状況についてですが、先般も三重の教育談義において学校は、ブラック企業にあたるというような話もありました。

働き方改革というものが出ていると思いますが、そのような中で、土曜日の授業や空調設備が整備された場合の授業の在り方などいろいろとあると思います。そのようなことも含め、いろいろなことも含めて先生方の勤務について検討していく必要があると思いますが、教育委員会としてはどのように考えているのかお聞きします。

学校教育課長 年度当初に各学校に教育委員会から職員の働く時間についてしっかりと一人ひとりの職員について把握するよう校長先生にお願

いしました。同時に学校の経営方針の中で、中学校においては大きく占めている部活動について子どもの健康面も配慮してですが、週に1回は休業日を設定することや学校で毎日遅くまで残っている先生の状況が見られることから学校において職員が共通認識の中で定時退校日を設定することを方針の中に載せるようお願いし、すべての学校の経営方針に載せていただいています。

この方針に基づき校長先生のリーダーシップのもと取り組んでいただいているのですが、業務が終わらないと帰れないという実態もあり大きな改善までは至っていない状況です。現在、中間報告を見ているところですが、引き続き年度末まで4か月となりましたが、12月の校長会においてもお願いしていきたいと考えています。

それと合わせて、学校教員は、年休がなかなか取れないとマスコミでも取り上げられている事ですが、年休の取得についても各自が、一日ないし二日、昨年度に比べ取得できるよう校長から職員に声掛けをしながら役割分担も学校の中で行いながら取得するようお願いし、このことについては、昨年度より改善されていることが中間報告の確認の中でわかってきました。

また、年度末には今年度の反省として示していきたいと考えていますが、引き続き学校長に教育委員会としてお願いしていきたいと考えています。

教育長 他にどうでしょうか。

山川委員 報告事項4の図書館を使った調べる学習コンクールについてですが、学校別で小学校36校中13校の応募、中学校で12校中の1校ということで、少しばらつきがあると感じます。それぞれの学校によって事情もあると思いますが、児童生徒の意識の問題かなと感じます。

また、もう一つ言えるのは、調べる場所が公共の図書館の松阪図書館または、嬉野図書館ではなくて学校図書館を使って調べることが多いのではないのかと思います。いつも思うのですが、学校図書館を生徒がどのように利用しているのか。貸し出しやその場での読書をする事など、図書館を有効的に利用していただきたいと思います。

司書の課題もあると思います。司書のいる学校は、しっかりと図書館を利用しているということもあります。

このコンクールは、児童生徒が学校図書館を多く使っている学校の応募が多いのかなと思いますが、このコンクールの応募にすべての学校が載るようにしていただきたいと思います。各学校の先生にも周知徹底していただきたくさんの児童生徒に応募するよう指導していただきたいと思います。

生涯学習課長 学校への司書派遣に伴い、その司書が調べる学習コンクールのPRを行い、作品の募集もしています。

これについては、平成17年度から学校支援課で読書室いきいきプランという事業で中学校への司書派遣を行ってまいりました。

また、平成27年度からは、国の交付金を活用して、市の図書館と学校の図書館の連携を図り読書活動の推進をしてまいりました。

司書の派遣も平成27年度からは、生涯学習課で国の交付金を活用して行っています。

中学校では、嬉野中学校を除く全校で司書派遣を行っていました。嬉野中学校は、以前から司書が配置されています。

また、平成27年度は中学校の他、小学校10校、平成28年度には小学校18校にも司書派遣を行ってきました。このように司書を派遣する小学校を順次増やしてきたことから現在の応募状況と考えられます。

平成29年度からは、国の交付金がなくなったことから中学校とその中学校区の小学校に公平に司書が派遣されるように事業を行っていますので、コンクールへの参加校も増えてくるかなと考えています。

山川委員 新教育ビジョンの58ページに図書館を使った調べる学習コンクールの応募作品数について、現状値が平成28年度で101点、目標値が平成32年度150点となっています。目標値が低いのではと感じます。今後、もっともっと増やしていただき目標値の150点を軽くクリアーするような方向性でしっかりと進めていただきたいと思います。

教育政策・地域連携統括M 合併前から嬉野地域は、図書館教育に力を入れており、現実に松阪図書館に匹敵する嬉野図書館が造られているという経緯もある中で、嬉野地域の小中学校の特に嬉野中学校は、この調べる学習コンクールには、毎年多くの生徒が参加しています。

それに関して、そのノウハウを他の学校に取り入れつつ調べる学

習コンクールを充実させていきたいと思っていました。

その中では、ご指摘いただいたように活動指標が低く設定されていまおり、生涯学習課長から回答いたしました。小中学校の学校教育と連携して調べる学習コンクールが充実するようにしていきたいと思っています。

教育長 参考にですが、この最優秀賞の今昔郵便局物語は、自ら調べるために東京まで行くなど、どんどん広がっています。

子どもの発想が、一か所に留まらず、どんどん自由な発想が出てきます。

また、それを司書の方々に支えてもらっていることが非常に大きいと思いますし、かつ、このようなことは、手書きではなくワープロが多いのですが、この最優秀賞はすべて手書きであり、参考資料とその出典元が明らかにされているということなど、非常によい作品でありました。

教育長 他にありませんか。

竹内委員 本を読むという習慣は、これからもどんどん必要なことだと思います。先般の講演の中で、人は、三つから学ぶということで、読書から学ぶ、旅から学ぶ、人から学ぶと聞きました。読書から学ぶことがたくさんあると思いますが、そのようなことをいろいろなかたちで、積極的に読書を進めていただきたいと思います。

少しお聞きしたいのですが、朝の読書は、松阪市内の小中学校でどれくらい行われていますか。

学校支援課長 今、資料が手元にありませんので、後程お示ししたいと思います。小中学校において、朝の学習で、読書を行なっているところが多いと思います。

教育長 参考ですが、私が殿町中学校の校長の時に朝の読書を始めました。よかったと感じたことは、子どもたちが朝の授業が始まる前に落ち着いて準備ができ、落ち着いて一時間目に入っていける。

また読書の中身もだんだんと変わっていく。あわせて保護者の方、特におばあさんから孫と一緒に図書館で本を借りたいということがありましたので、本を借りていただいておばあさんにも本を読んでいた

できました。

また、夏休みには、図書館を開放して来ていただいたこともあります。子どもだけでなく家庭へ持ち帰って話をするなどいい効果があったと思います。

ただ、正式な数値は今持っていませんが、朝の学習については、基礎学力の定着ということで、ドリルやワークシートなどにシフトしている学校もございます。

竹内委員　私も10分間本を読むということが、それで集中力がつくということと、例え10分であっても年間を通せば、積み重ねとなりかなり本を読めるということで良いと思います。

山川委員　今年は、ビブリオバトルが台風の影響で当日できませんでしたが、延期するのでしょうか、中止となったのでしょうか。

生涯学習課長　延期となっていますが、開催時期が本年度中になると公民館まつり等の関係もあり、4月にリニューアルオープンする松阪図書館のイベントの一つとして今まで以上のかたちで、行っていきたいと考えています。

平成30年度については、リニューアルオープンの時期と通常の時期と2回開催していきたいと図書館と協議しています。

山川委員　毎年、興味深く参加させていただいています。聞く側ではなく、今度は発表する側、本を紹介する側に立ちたいなと思っています。

教育長　他にご質問、ご意見はありませんか。  
(委員から「なし」の声)

教育長　質問等が終了いたしましたので、報告事項1から4は、承認したいと思いますが、いかがでしょうか。  
(委員から「異議なし」の声)

教育長　異議なしということでございますので、報告事項1から4は、承認いたしました。  
次に、その他の項に入ります。事務局から説明願います。  
(事務局 説明)

教育長 　ただ今のその他事項に関する事務局の説明に対して質問等は、ありませんか。

（委員から「なし」の声）

教育長 　他にその他の項で、ありませんか。

竹内委員 　春の高校バレーが男女ともに松阪の高校であり、高校サッカーも三重高校が代表となりました。高校野球でも三重高校が春の選抜に出場の可能性があるということで、松阪市の高校がスポーツで頑張っていることを、小中学校を含め市全体に広く周知して盛り上げていただきたいと思います。

スポーツ課長 　市民の皆さんが元気になれるお知らせだと思いますので、しっかり広報していきたいと思います。

教育長 　他にありませんか。

教育総務課長 　次回の教育委員会定例会でございますが、12月22日金曜日、午後1時30分から教育委員会室でお願いいたします。

教育長 　それでは、これで平成29年11月第13回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。